



ネパール・ミカの会

平成14年秋号 NO.18 11.15発行

ネパール・ミカの会 事務局 194-0035 町田市忠生2-5-36 こもればい堂内 tel 042-791-0602

ネパール・ミカの会 会長 斎藤 謹也

2002.8.18-8.25



1.ヌルブ・ラマ氏、カトマンドゥ日本語学院校長に就任（2002年9月1日より、任期2年）

今回の旅の最終日8月24日朝ナガルコットに学院から電話が入り、4時から会議を開催するので出席するように通知され、私たち一行も日本語学院に行きました。そこで校長就任が正式に決定いたしました。

残念ながら今回の旅、ヒマラヤは全く見なかったのですが、その代わりこの朗報が入りました。とても良かったと思いますが、真っ先にうかんだ事は、「これからは、そう気楽にガイドやミカの会支援が頼みにくくなるのでは」という心配でした。ラマさんは「校長となっても、多忙にはなるでしょうが全くいままでとかわりなくやっていきます」との話でした。



2.ルンビニ公園より、カピラ城の間の学校建設をユネスコが行うことを内定という情報が、ルンビニ公園内の日本山妙法寺の佐藤上人から受けました。これから詳しい情報をと考えています。尚、佐藤上人は一生涯ルンビニにて修行したいと発願しているとのお話に感激しました。ネパール暦の釈尊降誕会をパコダにて催行したところ、現地の方が本年、3万人集まったとの事でありました。又、この日夕方、ルンビニ開発公社職員（ラマ氏友人）夫妻と会食、新婚2ヶ月目を祝う。

3.カトマンドゥ盆地、タンセン、ルンビニの治安状況は良好でした。

カトマンドゥの市内には軍隊警備がありましたが、タンセンは少なく、ルンビニでは殆ど見かけませんでした。一種の落ち着きをみせていて、観光客は徐々に戻っているようです。買い物は以前に比べると安くしてくれる率は大変少なくなっていました。関西空港-カトマンドゥ間は往復とも満席の状況。到着後、ホテル・ヴァイサリーでダブルブッキングの為待機を余儀なくされた女性客3名がかなり苦情を言っているのに出会いました。

4. マヤ聖堂、ほぼ完成

あと1ヶ月で、全て完成するとの事で、最後の工事中の現場を屋上に上がって見学してきました。日本佛教会との間で、その復元について論議があり、結局ネパールユネスコ主導で再建が行われたようです。釈迦堂にあった石佛（誕生像）も、新聖堂内に移転済み。

5. マズワニ保健センターに、助産婦兼看護婦が復帰

かねて懸案であった助産婦が、センターに戻り職務再開。村長は胸を張って彼女を紹介する。保健センターはほぼ完成であるが、ドア、窓ガラスの予算がなく、本年度開始はできないとの事。（あと15万ほど足りない。）巡回保健員（女子）とも会う。



6. マズワニ中学校は順調に2年目を開始

新一年生約30名、二年生約25名が学んでいるマズワニ中学校を見学。夏やすみ明けなのでまだ少ない状況であるが、9月に入ると子供達も多いとの事。尚、この日学んでいた子の約6割が女子。制服を新一年生は楽しみに待っているとの声に、ラマ君に制服製作を中間調査時まで間に合うよう依頼して欲しい旨指示する。シリ・マズワニ小五年生に、女子が多く入っている様子を見る。中学校建設は確実に女子に希望を与えている事を実感する。ルンビミ公園内の韓国寺院を訪れたところ、ここはマズワニ村の皆さんが働いており、口々に中学校建設について感謝の話をしているとの事です。従って、ご住職もミカの会活動については、村々を巡回した折りにもでてくるのでよく承知しているとの話であった。韓国KDD放送の取材を受ける。

7. タンセン・モホン女子校寄宿舎訪問、ルンビミ・パドマカニヤ女子校訪問等

(イ) ネパールの環境教育について調査（教師より話を聞く）

(ロ) 奨学金支援生と、旧王宮前にて観光及び買い物

クマリの館で2名、低カーストの為入場できなかった厳しさを知る。

(ハ) 働く子供の為の学校（タンセン）へ町田第一小学校の教材を持参する。

8. ネパールでお祭りに出会う

雨季が終わり、いよいよ祭りの季節が始まりました。村々で、いろんな祭りに出会いましたが、8月23日にはガイジャトラ（牛祭り）があり、街中いたるところで会ったのが印象的でした。男の子が牛の面をかぶり、女装して街を練り歩く姿は、のどかで、どこかなつかしかったです。この祭りは、王室の妃が子供を亡くして、いつまでも悲しみにくれていたので、国王がお触れを出し、その年に死んだ人のいる家から、このジャトラの祭りを出すようにいったところ、街中にあふれる人々をみて、妃は自分だけが子供を亡くしたわけではないとわかったという16世紀からの故事にもとづい

ているとの事。

9. 蛍の木（シマルの木）について出会う

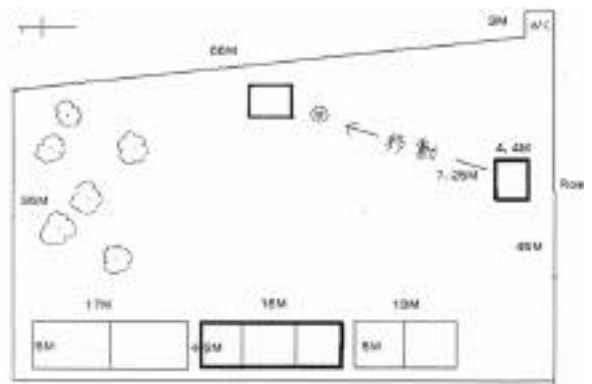
ルンビニにて蛍見学に出かけ、街道沿いのたくさんの光りに会い、蛍が群れ飛ぶ木に会って、感激、大感激でした。やはり百聞より一見をおすすめする。

10. その他

（イ）タンセンにて子供の日に会ったり、ルンビニ・カトマンドゥで女性が男性の長寿を祈る日に会い、ともに学校は休みでした。とにかく休みが多い国ですね。ラマ君もその日になって分かるとの事です。

（ロ）本年度増設（3教室+職員棟）予定校は続々村民が集まり、秋着工、年度内完成予定との私の話に大拍手、大感激でした。尚、職員棟については予定の入り口付近ではなく、校舎に平行して作りたいとの事。これはラマ君と相談するように指示。休みにも関わらず、子供達はどこの学校でも登校してきて、私達の視察を見守る。

（ハ）シリ・シリ・ラム小学校で、中学校建設（2教室）始まる。シリ・マズワニ中



学校建設に刺激を受け、かねて要望のあったシリ・シリ・ラム小学校ではラム村村長が思いきって村の予算で中学校を建設していました。又、村内集落も見学いたしました。水路をつくるなど村長の頑張りが目立ちました。

中間調査調査内容報告書

副会長 今村 旭
青沼 義信

10月14日（月）

12日からダサイン祭りが始まり、ほとんどの学校が休校のため校舎視察のみとなった。

シリ・スンディー小学校建築現場視察：

計画一部変更：



3教室1棟、職員室1棟共建築規模は計画通りであったが、職員室の建築位置が道路側から教室の向側と変更された。

今後の工事日程：

10月14日現在・ 外壁、屋根工事完了 完成度80%とみられる

12月末・ 内、外装セメント工事・窓枠・ペイント工事完了

1月中旬・ 手直し・完成

建設予算：現在の見込みでは余程のことがない限り1404千円以内に収まると思われる。

村長・学校長との懇談（於 ガーデンレストラン）：

村長・学校長出席者：

マズワニ村村長 スグリブ・プラサド

サクロウン・パカリ村村長 ビンディアチャル・ヤドゥ

シリ・グルワニマイ小学校校長 バッデソ・プラサードパル

シリ・マズワニ小学校校長 ムキヤ・ラム・チョウダリ

シリ・ルンビニ小学校校長 クリシュナ・パサード・パンタ

シリ・アディアリ小学校校長 モホン・プラサード・ヤドゥ

シリ・シリ・ラム小学校校長 ハリラム・ティルパティ

シリ・スンディ小学校校長 ソマイ・プラサード・ダオル

ネパール・ミカの会出席者：

今村 旭副会長、青沼義信、佐藤富美子、ヌルブ・ラマ、ヌルブ・ジャンモ

・ルンビニ教員研修について：「教員の研修については以前より必要性を感じていたが、その機会が無かったので実現できるのであれば非常に有難い」と異口同音に賛同の意向であった。但し、教員数が十分でないので長期間は不可能。1週間ぐらいが限度との事であった。

・生徒数の推移について：支援をはじめて7年になり、今後の活動をより充実したものとするため現在東京都にNPO登録を申請しているが、現在までの成果を判断する資料の一つとして生徒数の増減推移を見たいので、学年別・男女別人員推移を学校ごとに調査したいが資料はあるか？に対し、各校とも資料はあるので後日ラマ氏宛提出する事になった。

・要望事項について：各学校からの要望事項は次の通りであった。

シリ・アディアリ小学校：机、椅子の整備・窓の扉取り付け・フェンスの整備

シリ・ルンビニ小学校：机、椅子の整備・窓の扉取り付け・井戸ポンプ
(ポンプ盗難)

シリ・マズワニ小学校：フェンスの整備・グラウンドの整備(水たまり箇所の整備)

シリ・シリ・ラム小学校：机、椅子の整備・井戸(以前4箇所くらい掘ったが良い水が出ない)

シリ・グルワニマイ小学校：扇風機の取り付け(現在1教室設置済み)・井戸の設置

シリ・スンディー校：机、椅子の整備・職員室の机、椅子、書庫整備・井戸、フェンス整備

・村長、校長より：各学校に救急箱を置きたい。(20年くらい前ユニセフが救急箱を支給してくれたが2年しか続かなかった)

・ミカの会仕様民芸品生産の件：

1. 草かご

2. 竹のうちわ (現物見せてくれる事になったが間に合わなかった) 作る事は出来ると思うが、家庭で使用のためにしか作っていないので、生産数や売値など見当がつかないとの事であった。次回訪問の際再検討すべきと思われる。



10月15日（火）

マホマディア小学校訪問：イスラム教系学校のためダサイン祭りでの休校はしていなかった。授業生徒数は男子10名、女子6名と訪れるたびに少なくなっている。転校だけが原因なのか!!井戸ポンプ盗難の跡を見ると「貧しさが心にまで」と、やりきれなくなった。

シリ・ヤナトラハ・スクール訪問：校舎視察だけしか出来なかった。3月の開校式訪問時に植樹した木々は雨で流されたりで3本だけになっていた。しかし、3本は回りを防御し保護していた。

シリ・グルワニマイ小学校訪問：校舎視察のみであった。 教室扇風機1台確認。

シリ・マズワニ小学校・中学校訪問：フェンスの破損が目立った。中学校の井戸ポンプ盗難。左側トイレつまっていて使用できず。（使い方を知らないためらしい）

マズワニ村医療保健センター建築現場視察：窓、ドア、内装、外装、電気共未完成で今年度中の竣工は難しいようである。しかし一番奥の部屋は未完成ながら医療指導などに使い始めたとの事であり、今後の工事進捗状況を見ながら支援内容を検討すべきと思われる。

シリ・ルンビニ小学校訪問：フェンスの柱が倒れたり、有刺鉄線が破られたりなどの破損が目立った。井戸ポンプの盗難は非常に残念。

シリ・シリ・ラム小学校訪問：校庭でダサイン祭りの野外演劇？が行なわれており、又食べ物などの露天も出て歩けないぐらいの賑やかさであった。昨夜お会いしたパカリ村の村長も居て、バナナをご馳走になったりネパールの祭りを楽しませていただいた。人ごみの中で生徒に親しみの目で「ナマステ」と挨拶された時はとても嬉しかった。独自に建築中の中学校校舎は予算不足のため窓・内外装等の工事を残して中断しているとのことである。

蛍の鑑賞：今回も蛍の木を見る事が出来た。ラマさんの調査？によりルンビニ公園にも多数見られるとの事で案内していただいたが、蛍の数は以前ほどではないものの20本近くの木に見る事が出来た。月が明るすぎ、写真に撮る事が出来なかったのが残念でした。

10月16日（水）

ルンビニよりタンセンに移動

10月17日（木）

ミカの会が支援しているルンビニ地区学校生徒の教育レベルの向上を計る事を目的として、先生の研修を計画しているが、セン小学校校長先生から昼食の招待があり、自宅に伺い奥様の手料理（私たちのために辛さを調整したネパール食事）を頂いたがその際つぎの意見交換をした。

・ ルンビニ教員研修についての受入について：

ミカの会が支援しているルンビニ地区学校生徒の教育レベルの向上を計る事を目的とした、タンセンでのルンビニ地区の教員研修計画についての意見を求めたところ、セン小学校にはネパール語・数学・科学・英語の4教科について教員を研修できる先生が4人居るので全面的に協力するむね快諾を得た。

実施についての具体的事項については今後検討していく事とするが、セン小学校校長が2年後定年となるので、それまでに軌道に乗せたいところです。

・ パソコンの援助要請について：

私立学校に負けない授業内容にするためパソコンを1台導入したが、1台だけでは十分な授業にならず、あと2台導入したい。中古でも良いので1台だけでも援助してもらえたら有難い。との援助要請があり、帰国後会に計るむねを話した。

中古パソコンは1台6万円位だろうとラマ氏の言でした。

・ 学校への立ち寄り要請について：

ミカの会がタンセンへ来ても以前のように学校へ寄ってくれないのは、何か不都合な事でもあったのか？と生徒から聞かれた事があり、生徒も待っている所以次回は是非学校に寄ってもらいたい、との要請があった。



タンセンのレストランにてタンセンでの支援校4校長と懇談意見交換を行なった：

学校出席者：

トリブヴァン大学学長チョレイショウル・シャルマ先生

シリナガル・サイエンス校校長ディレン・スウレスタ先生

セン小学校校長ミンバハドゥ・ケシ先生

モホン女子校校長ディエブ・プサド・バズラチャリア先生

ネパール・ミカの会出席者：

今村 旭副会長、青沼義信、佐藤富美子、ヌルブ・ラマ、ヌルブ・ジャンモ

・図書ほか支援品リストアップについて：トリブヴァン大学、シリナガル・サイエンス校では実験用具、特にビーカー・フラスコ・試験管などのガラス器具、試薬などの薬品、顕微鏡等が不足していることを強調し、トリブヴァン大学学長は昨年の中間調査の際学生をカトマンドゥまで連れて行って購入してもらった実験器具について、学生共々非常に感謝しているとのことであった。

今後図書予算の内から実験器具購入費を捻出する事も考える必要があるか？と感じた。尚、シリナガル・サイエンス校へは、今村副会長が次回訪問の際実験器具のプレゼントを約束された。支援図書については各学校とも具体的な支援要請は無かったので、後日例年の通り図書名などをラマ氏あて提出されるよう要請した。モホン女子学校長は従来どおりの支援を継続することで、特に新たな支援要請は無かった。

10月18日（金）

タンセンよりバイラワ経由にてカトマンドゥ着後、電話にて在ネパール日本大使館への訪問を申し込み、前回お会いした佐藤書記官が出張のため鳥取寛二等書記官と面談。鳥取書記官は農業関係専門の上、私たちの突然の訪問のため、以前提出してある当会の資料を見ておらず、会の活動についての説明から始めなければならず面談は1時間近くに及んだ。

・マオイストについて：マオイストの動きが度々あるので慢性化してしまい最近はあまり驚かなくなってしまうと、いささか危機感希薄気味な話は意外であった。

・移動図書館の車両調達について：

中古車輸入は禁止となったのでネパール国内での調達しかないが、もし輸入出来たとしても陸送にはインド経由になり、到着までに主要部品はほとんど盗まれ、着いた時には車としての機能はほとんど無くなっている事が多くコンテナを使わなければならないので、輸送コストが膨大になってしまう。

大使館でも車を使っており、耐用年数がくると廃車になるが、タイミングが合えばその車を払い下げてもらおうと言う事も視野に入れては？との話もあった。

・日本語学校訪問：ダサイン祭りのため休校中であった。気のせいかな以前訪問した時よりきれいになっているようで、ラマさん校長のせいかな？と思った次第です。

日本から持参の絵本の一部は翻訳してあり、今後も続けてもらおうと思いましたが、受講生のほとんどが職業を持っており、翻訳して書き込む時間的余裕が無いのが現状と聞き、はかどらないのも無理がないと納得し、今後の方法を考えなければと思った。

・授業用テレビについて：ラマ校長は「今後授業用テレビをもう1台入れたいと思っている」との意向を漏らしていた事を報告します。

中古自動車販売店3店訪問したが内1店は休業中で、2店で移動図書館として使えるような車両について価額を調査した。調査結果は前記「移動図書館について」で報告済みにつき記載は省略する。

*今回の中間調査にカトマンドゥでネパール語を勉強している会員の佐藤富美子さん、ラマさんの妹さんで医科大学生のジャンモさんが同行されましたが、佐藤さんはネパールに来てわずか1ヶ月にも拘らず私たちに通訳も出来、特にバザー用品購入では品物の見立てから値段の交渉までをやってもらい、非常に助かりました。又ジャンモさんは、医科大学卒業後ルンビニで医療活動をする事になっている(ラマ兄さんとの約束だそうです)ので、ダサイン祭りの休みを利用してルンビニを見ておきたいとの事で、ルンビニにとっては勿論の事、会にとっても心強い事と思いました。

江戸川チャリティバザー報告

秦 明広

秋のイベントのトップをきって江戸川チャリティバザーが9月1日に行われた。今年東部区民館と横の下鎌田広場が会場となった。早朝6時30分頃小田急線の踏切事故の、新宿駅での待ち合わせはすれ違い。それでも8時30分には皆会場に着きました。町田から初めて来たら遠くに感じたと思いますが、加藤さんは町田まで何度も足を運んでいる。それを思うと頭の下がる想いである。衣類を中心になんとも可愛い手芸品、ネパールグッズ、靴などのバザー用品を並べ終わると全員もう汗だくとなった。隣のブースが空いているので、本部の許可を得て使わせてもらおう。ラッキー。水分補給をやりながら買い物客をさばく。補給をした水分はすぐに汗となった。ぎらぎらと照りつける太陽はお肌に悪い。想像より人出は多くなく、もうそろそろお昼かなと思ったら未だ10時半。長い一日になりそうだ。暑いので時々休みながら市場調査。模擬店は区民館側にズラリ並んでいる。本の無料配布もあり、こちらの方に人が集まるのは当然か。館内入り口付近では、「ゴミの中からこんなモノ展」が開かれていた。まだまだ使えるモノをゴミとしてすててしまう事が大問題なんだ。ゴミのこととなると人が変わる自分が恐ろしい。ゴミをなるべく少なくして下さい。という職員の呼びかけにフト我に帰る。炎天下のバザー会場に帰ると、加藤さんが、子供達がポケットマネーの中から20円カンパしてくれたのよ。と喜んでいて。それを聞き癒された気分になった。12時をすぎると人出は落ちた。午前中が勝負だったと思う。若い人は少なかった。区の施設のバザーやフリーマーケットはどこでも同じような客層だ。募金を含めて売上は約45,000円だった。担当者は加藤さんの息子さんや友達のかたにも協力していただいた。皆さん暑い中ご苦労様でした。

栄通りバザー感想記

平成14年9月8日(日)

加藤雅子



心配していた天気も、朝から暑いくらいの晴天に恵まれ、順調にスタートしました。会場となったパング駐車場にはいろいろな団体がお店を出し熱気ムンムンでした。

手作り品、リサイクル品、食べ物、野菜など売っている品物はいつものバザー風景です。骨董品を売っているコーナーもあり、時間があったらゆっくり見て掘り出し物を探したかったなぁと、ちょっと心残りでした。また「体力測定コーナー」があり、自分の体力年令が判るということで挑戦していた会員の方もいました。結果はどうだったのでしょうか？道路を挟んで隣の会場ではステージが設けられ、歌謡ショー、音楽演奏、踊りがあり大変賑やかでした。午後からはメインストリートでパレードがあり、盛り沢山の栄通り



バザーでした。目標売上額を自分で五万円としてみたのですが、無事達成することができ嬉しく思っています。会員の皆さまお疲れ様でした。

ワイワイ祭りの報告

平成14年9月30日（日）

沼野 和子

まちづくりワイワイ祭 2002

日時 前夜祭 9月14日 17:00-19:00

本 祭 9月15日 10:00-16:00

場所 芹ヶ谷公園

ワイワイ祭りは今年で13回目を迎えたということですが、ミカの会は2回目の参加です。参加団体が70余りと多く、5月に始まった実行委員会も4回。5つに分かれたゾーン会議（私たちは多文化ふれあいゾーン）。9月6日には決起大会。毎回夜7時～9時、10時近くなることも少なくありませんでした。

はじめて担当した私は開催日以前に少々疲れてしまいましたが、大谷、松浦、山内さんなど一緒に出席してくださった皆さんも大変だったと思います。一番の心配は、物品販売に現金が使えず、1枚50円10枚綴りのチケットを使わなければならないことでした。また、募金箱をおくことも禁じられましたし、飲食物の販売にもいろいろの制約があって、今回は断念しなければなりませんでした。

14日は2時頃公園に荷物を持ち込み、集合してくださった皆さんでテント張り、机や椅子の用意などを行いましたが、17時からの会には各団体から1名くらい出ればよいということなので、4時頃に解散しました。

17時からの会には私が参加しましたが特別のこともなく、本部テントでの飲食（会費制）、陣取りゲームなどでした。

15日は薄曇りであまり暑くもなく、よい日和でした。9時頃には皆さん集合し、準備に取りかかりました。ネパールの民芸品、小林さんの作品、古着などの販売と写真の展示を行いました。なかでも小林さんの作品は大変人気があり、たちまち売り切れてしまいました。ただ、現金を出すお客さんに一人一人説明して前のテントでチケット買って貰うのが面倒でもあり、気の毒でもありました。そのうち小林さんが自分でチケットを買ってきて、それをお客の現金と交換してくれたので助かりました。

私たちの出店場所は会場の一番端であり賑わいませんでしたが、まずまずの成果上げることが出来ました。古着の置き場所や民芸品の飾り方など反省することも多かったのですが、皆さんの協力のお陰でした。

会場が広いので各団体にいろいろの係りが割り当てられ、私たちはゴミパトロールを希望し、山内さんがやって下さいました。また、16日には会場の清掃があり、これも山内さんにご主人にお世話になりました。私自身は担当者でありながら、地方からの泊まり客という私的な事情で15日の最後の片づけも16日もお手伝いができず、皆さんにご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ないことでした。

残務整理としてチケットの整理がありましたが、これは21日の例会の時に皆で済ませました。29日にこひつじ幼稚園で現金化すればすべてが終了することになります。また次に向かって励むことに致しましょう。

第7次「ネパール教育支援の旅」のお知らせ

第7次「ネパール教育支援の旅」を2003年1月26日～2月2日に実施します。

ルンビニの太陽に真っ白に輝く3教室1職員室がスンディー小学校に完成し、子どもたちが喜びの笑顔で迎えます。タンセンでは恒例になった合同図書寄贈式の様子が、今回もネパール国内にラジオ放送されるのでしょうか？懐かしい塩屋の姉妹をはじめ街の人たちとの再会も楽しみです。カトマンドゥでは日本語学校を訪れ、ラマさんの校長就任祝賀パーティを予定しています。

バクタプール、パタンの観光、マウンテンフライト、ナガルコットの丘からのヒマラヤの峰々をお楽しみ頂きます。ミカの会の地道で着実な活動の成果を目の当りにする感動と感激の旅に多数の皆さんの参加を期待しています。

第7次「ネパール教育支援の旅」

期 間 2003年1月26日(日)～2月2日(日) 8日間
費 用 1人当り概算 213,000円
ビザ取得・海外傷害保険・マウンテンフライト代含まず
内訳 羽田 カトマンドゥ 128,000円
現地旅費・滞在費 85,000円
申込み 申込み期限 11月20日(水)
事務局 和田、大谷まで



旅 程 1 / 2 6 羽田～関空～カトマンドゥ
1 / 2 7 カトマンドゥ～バイラワ～タンセン
1 / 2 8 合同図書贈呈式 教員研修打合せなど
1 / 2 9 タンセン～ルンビニ
 スンディー小学校落成式 移動図書・教員研修打合せなど
1 / 3 0 既支援校視察 観光 バイラワ～カトマンドゥ～ナガルコット
1 / 3 1 バクタプール、パタン、カトマンドゥ観光
2 / 1 日本語学校、カニヤ校視察 ショッピング
 カトマンドゥ～
2 / 2 ～関空～羽田

旅程内容は参加者の要望を検討し最終決定します。

第5回ネパール支援チャリティーボウリング大会盛大に開催

日 時：2002年9月4日(水) 会場：町田ボウリングセンター

佐藤、須田、吉村プロの3名を迎えて総勢120名となった第5回ネパールチャリティーボウリング大会は盛大に開催されました。時間の関係で2ゲームと少し物足りなさがあったかと思いますがご理解賜りたく存じます。ゲームはやはり常連さんが強く優勝の中岡智恵美選手、準優勝岩崎学選手は3ピン差でした。表彰式ではネパールの現状を報告、チャイやケーキを皆さんにさしあげました。予想を超えるエントリーを頂き予約していない希望者は残念ながらお断りする場面もありました。チャリティー金額、**総額**¥216,937. をネパール・ミカの会に寄付していただきました。

築田寺文化講座

金木犀と彼岸花の咲く秋の一日9月29日に東 彩子、藤井一興両氏によるヴァイオリンとピアノの素敵なコンサートが開かれました。世界的に活躍されておられるお二人の演奏の後、質問に答え藤井氏が演奏中にのってくと背中に電流が流れ指先にも色がつくのを感じることもある。とのお話にはとても興味深いものがありました。尚、収益金の中から70,000円をミカの会にご寄付いただきました。

事務局・会計からの報告

催事名	江戸川バザー	収入		支出	
日時	2002.09.01(日)	バザー売上	¥44,270		¥1,000
場所	東部区民館	募金箱	¥2,750		
担当者	加藤(末)小松				
	小松(公)				
	秦				
		小計	¥47,020	小計	¥1,000
				収益金	¥46,020

催事名	栄通りフェスタ	収入		支出	
日時	2002.09.08(日)	バザー売上	¥61,770	テント	¥2,000
場所	ぱんだ駐車場	募金箱	¥2,436	宅配(江戸川)	¥5,080
担当者	加藤(雅)				
	掛川				
	今村(知)				
		小計	¥64,205	小計	¥7,080
				収益金	¥57,125

催事名	チャリティボウリング	収入		支出	
日時	2002.09.04 (水)	バザー売上	¥10,811		¥829
場所	町田ボウリングセンター	募金箱	¥1,713		
担当者	佐藤(富)	寄付	¥215,954		
	木幡				
	和田				
		小計	¥228,478	小計	¥829
				収益金	¥227,649

催事名	ワイワイ祭	収入		支出	
日時	2002.09.15 (日)	バザー売上	¥61,770	出店料	¥3,000
場所	芹が谷公園	募金箱	¥49,220	協賛金	¥5,000
担当者	沼野			机2脚	¥2,000
	山内(ト)			椅子5脚	¥1,500
	松浦				
		小計	¥29,220	小計	¥11,500
				収益金	¥37,720

訃報

9月29日(日)午前7時に齋藤会長のお姉さまであり、会員でもあられる齋藤禮子さんが永眠されました。ネパールの為に使って下さいと20,000円をご寄付頂きました。心よりご冥福をお祈り致します。

町田発国際ボランティア祭

第5回「夢広場」無事終了

2002年11月9日(土)ぽっぽ町田で第5回夢広場が開催されました。ネパールミカの会齋藤会長が実行委員会委員長をされていることから特に天候、人出が気になりましたが、午後からの強い風には悩まされましたが、順調にステージの進行も進み、各ブースも早めに完売される所もありました。5回目になると出店団体も慣れ、設営、撤収ととてもスムーズに行われました。既に夢広場ホームページでは当日の様子を見ることが出来ます。詳細は会計報告、反省会と後日行われる予定です。ご苦労様でした。

編集後記：秋のイベントラッシュは凄かったですね。真夏のバザー、強風のバザー。季節を感じながら2002年も終わろうとしています。初心忘れず。新鮮な気持ちで続けて行きたいものです。